

NPT再検討会議に向けた メディアブリーフィング



2026.4.15

川崎哲 核兵器をなくす日本キャンペーン専務理事、ICAN国際運営委員

浅野英男 核兵器をなくす日本キャンペーン・コーディネーター

今日の国際情勢とNPT再検討会議

- 核兵器保有国が、国際法を無視した武力行使をくり返している
- 核兵器が使われる現実のリスクがある
- 「核不拡散のための武力行使」という言説がまかり通っている
- 核軍拡の明らかな兆候がある(質・量・核実験再開?)
- 「力による支配」が「法の支配」を凌駕し、国際秩序が危機に瀕している
- 世界全体が軍事化の傾向を示しており、核拡散の兆候がある



NPT再検討会議は、現在の危機を止める道を示せるか？



- 国際法の普遍的遵守、多国間主義、紛争の平和的・外交的解決
- 核戦争の非人道的結末を認識し、核を使用しないとの規範を強める
- 核兵器の開発、保有、配備が許されないとの規範を確立する
- 核軍拡を止め、核兵器国は核軍縮を実行する
- 軍拡競争から軍縮対話へ

主要な国際的論点① 核軍縮

1. 核兵器を使用してはならない。核戦争を戦ってはならない
 - 核兵器の非人道性、核戦争の影響に関する言及？
2. 新START失効後の米口の核軍縮交渉について何らかの見通しがたつか
3. 米口+中の核軍縮交渉？
 - 中国が、どのような形であれば核軍縮の議論に応じられるのか
 - 先制不使用？
4. 米国による核実験再開示唆や、「中口が核実験を行っている」という米の主張に関してどのような議論がなされるか

主要な国際的論点② イランやウクライナとの関連で

1. **イラン**に対する米国とイスラエルによる軍事攻撃に関連して、
 - a. **中東非核・非大量破壊兵器地帯**の呼びかけ(イスラエルを含む)やそのための国際会議プロセスについてどのような議論がなされるか
 - b. 米国とイラン以外の国々がどのような表明をするか。米国を批判するか。戦争の終結と**核問題の外交解決**を求める声がどのくらい上がるか
 - c. 原子力平和利用の「権利」の主張がどのくらい上がるか

2. 欧州をはじめ核兵器への依存が高まるなかで、
 - a. 「**安全の保証**」の強化について、どのような議論がなされるか
 - b. 新たな核保有を求める声(ポーランド、韓国)についてどんな議論が
 - c. **核共有**(これまでのNATOやベラルーシに加え、フランス、ポーランド)、核持ち込み(フィンランド、日本?)についてどんな議論があるか
 - d. **原子力潜水艦**(豪州、ブラジル、韓国、日本?)についてどんな議論が

3. **原子力施設を攻撃しない**という約束が強化されるか

主要な国際的論点③ NPTプロセスについて

1. 何らかの(簡潔な?) **合意文書**が採択できるか
 - 国際法・国連憲章の重要性が含まれるか
 - NPTの基本＝核の拡散を防ぐことが核戦争を防ぐ＝が記されるか
 - 核軍縮の約束(1995, 2000, 2010)が改めて記されるか
2. 透明性、**報告**、説明責任——NPTプロセスの改善
 - 報告が重要なのは当然
 - しかし、それは2010年から言っている
3. **核兵器禁止条約**(TPNW)
 - NPTとの補完性、軍縮アーキテクチャのなかで
 - 核兵器の非人道性の認識
 - TPNW締約国の声明

1 Recognize
the inhumanity



核の非人道性を認識する

Stop nuclear threats,
build peace through law
NPT 2026



核の脅しあいを止め
国際法に基づく平和を

5 Strengthen
the UN and TPNW



国連や核兵器禁止条約をいかず

2 Disarm as promised

2026



核軍縮の約束を果たす

3 No nuclear tests



核実験を行わない

4 No to nuclear
proliferation



新たな核保有を認めない

日本政府の姿勢について

1. **参加のレベル**(これまでは首相・外相が参加)
2. **基本姿勢の表明**
 - NPT体制の堅持を呼びかけるか
 - いかなる場合も核兵器を使用してはならないと表明するか
 - **核兵器の非人道性を明確に表明するか**
 - **いかなる核実験も許さないと明言するか**
 - **「非核三原則を堅持する」と明言するか**
 - **ロシアや米国の国際法違反を等しく非難するか**
3. **日本に対する考えうる「批判」——どう答えるか**
 - **核保有論や非核三原則見直し論**があることについて
 - 日本のプルトニウム大量保有について
 - 日本での「原子力潜水艦」検討の動きについて
 - 広島・長崎だけが「被害者」でないことについて

日本政府の動き

外務副大臣が出席の方向性

国光あやの外務副大臣の出席を軸に調整中との報道。高市首相や茂木外相の参加は見送りの方向性とのこと。

作業文書(WP)の提出状況(4月15日現在)

計6本の作業文書を提出(共同提出を含む)。核軍縮関連の内訳は、WP12「核戦争リスクの削減」、WP14「国際賢人会議の提言」、WP15「軍縮・不拡散教育」、WP32「軍縮・不拡散イニシアティブの勧告」、WP34「ストックホルムイニシアティブによる貢献」

NPDI共同声明の発表

4月13日：軍縮・不拡散イニシアティブ(NPDI)による共同声明を発表。

作業文書（WP）の主なテーマ一覧

第6条の履行（過去の合意や新 STARTを含む）

透明性と説明責任

（国別報告に関する討論・再検討プロセス強化）

核リスクの削減

核兵器の人道的な影響

核実験モラトリアムと CTBT

FMCT

軍縮・不拡散教育

核軍縮の検証

27 April – 22 May 2026

Review Conference of the Parties to the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons (NPT)

©AdobeStock/25053S204

2026年04月10日 レポート

核不拡散条約（NPT）再検討会議とは何か



4月27日から5月22日にかけて、[2026年核不拡散条約（NPT）再検討会議](#)がアメリカ・ニューヨークの国連本部にて開催されます。そこで本稿では、そもそもNPT再検討会議とは何かについて、その目的や構造、進行の流れを中心に解説します¹。

そもそも解説

核不拡散条約(NPT) 再検討会議

どんな条約？

何のための会議？

イラン情勢との関係は？

日本は何をする？

4月17日(金)21時～

@YouTube(アーカイブあり)



カーネギー国際平和財団
核政策プログラム
リサーチアナリスト
倉光 静都香

核兵器をなくす
日本キャンペーン
コーディネーター
浅野 英男



国連から毎日中継！

核不拡散条約(NPT) 再検討会議レポート 2026

4月28日(火)～5月2日(土)

毎朝8:00～(日本時間)

@YouTube(アーカイブあり)

≡ 核兵器をなくす ≡
JAPAN CAMPAIGN TO ABOLISH NUCLEAR WEAPONS
日本キャンペーン



核兵器をなくす日本キャンペーン
コーディネーター
浅野 英男



2026国家安全保障戦略への提言

核兵器をなくす — それが日本の安全保障

2026.3.5





非核三原則

——いま何が問われているのか

[著]

川崎 哲・浅野英男

揺らぐ国是 日本の選択を問う

非核三原則とはなにか。

その成立から今日までの経過を解説し、

意義と可能性を深掘りする初入門書。

核共有・核保有さえ語られるいま、進むべき道筋を捉えなおす。

5月1日発売

定価 本体1,000円+税

出版記念イベント

5月15日(金)高田馬場